あかるく
なかよく
たくましく

学校だより

武岡台養護学校　令和２年　１２月　１日（火）

学校ホームページアドレス
http://www.edu.pref.kagoshima.jp/ss/Takeokadai-H/top.html

子どもたちの学びに更に応えられる学校を目指して

教頭　水野　高明

令和２年度から新学習指導要領が小学部で本格実施となりました。中学部は令和３年度，高等部は令和４年度からそれぞれ本格実施に向け，現在，移行措置の対応を行っています。今回の改訂では，「何ができるようになるか」，そのために「何を学ぶか」「どのように学ぶか」という資質・能力の育成が強調されています。育てたい力の着実な育成に向けた意図的な学習活動の設定などが一層求められるようになりました。

一方で，新型コロナウイルスの流行により，１学期は臨時休業や分散登校を余儀なくされました。当たり前の学校教育が実施できない経験を通して，子どもたちの一日一日の学校生活がいかに貴重であるかを強く感じさせられました。そのような中，新たな学び方の一つとしてオンラインによる学習にも注目が集まっています。本校でもテレビ放送による朝会や高等部南部支援教室との遠隔合同授業などを行っています。また，日常の授業においても，感染防止対策を踏まえる中で先生方の工夫が随所に表れています。ねらいによって学びの有効性は異なります。本校の子どもの多くは，実体験や人との関わりを通した学びが効果的な場合もあります。「私たちの教え方で学べない子には，その子の学び方で教えよう」，私はこの言葉が好きです。

毎日学校を楽しみに登校してくる子どもたちのために，そして，確かな学びのために私たちはどう応えるべきか，一人一人異なる多様な学びとその可能性に着目しながら更に探っていきたいと考えます。

～　2学期の学習の様子から　～

＜小学部＞

小学部５年生は，10月７日，８日に宿泊学習を行いました。１日目は，乗馬体験や花火鑑賞などをしました。乗馬体験では，本物の馬の大きさや勢いよく餌を食べる様子に驚いたり，乗ったときの揺れを全身で感じたりしながら，馬との触れ合いを楽しみました。夜の花火鑑賞では，安全に留意しながら，「きれいだね！色が変わったよ！」と笑顔で鑑賞することができました。

２日目は，２グループに別れて創作活動に取り組みました。塗り箸グループは，６色の漆が塗り重ねてある箸をサンドペーパーで磨き，様々な色の箸を制作しました。ペーパーを水でぬらして磨いていくと，下地の色や模様が表れます。磨く方向や回数で色や模様が変わっていく様子を楽しみながら制作しました。ガラス工芸グループは，ルーター（彫刻機）を使い，ガラスコップの表面に模様や絵を彫りました。事前に準備した下絵をコップの内側に貼り付け，下絵に沿って線を彫っていきます。真剣な表情で集中して制作することができました。

２日間の宿泊学習を通して，「さすが５年生！」と頼もしく感じられる場面がたくさんありました。自分の役割に責任をもって取り組んだり，友達と声を掛け合いながら，布団の準備や片付け，部屋の清掃をしたりする姿からは，学習を頑張ってきた自信や児童同士の関係の深まりを感じることができました。今後も，宿泊学習の経験を生かしていろいろなことにチャレンジし，成長してほしいと思います。

（小学部第５学年主任　白尾 秀隆）

＜中学部＞

中学部２年生は，９月14日，15日に南さつま市の南薩少年自然の家へ，１泊２日の宿泊学習に行ってきました。今年度は，コロナの影響も有り，実施に向けて心配もありましたが，十分な対策を行い実施することができました。当日も，暑すぎない晴天に恵まれ，予定していた活動を実施することができました。１日目のカヌーでは，万之瀬川が満潮で凪いでおり，カヌーをするにはとても良い状態でした。近年まれにみる漕ぎやすい状態で，事前学習で練習したとおりに「イッチニ！サンシ！」と声を合わせて漕ぐことができました。途中，川面の様子を眺めたり，涼しい風を感じたりすることができました。ほとんどの生徒が初めての体験で，「ちょっとどきどきしたけど楽しかった！」「腕が疲れた！」などと話していました。

２日目のウォークラリーでは，グループ毎にミッションにチャレンジしてパズルを完成させる活動を行いました。南薩少年自然の家から，サンセットブリッジまでのコースを歩き，途中アスレチックもしながら楽しく活動することができました。そして，御飯もたくさん食べ，大きなお風呂に一緒に入ったり，自分たちで布団を敷いたりといつもと違う環境の中で，友達と助け合いながらも自分のことは自分で取り組み，多くのことを学ぶことができた２日間だったと思います。中学部２年生の子どもたちにとって，体験すること，自分でやってみることは，大きな成長や自信につながると思います。これからも，多くのことを経験し，学びながら，成長していくことを楽しみにしています。

（中学部第２学年主任　尾崎 きょう子）

＜高等部＞

高等部では，卒業後の進路につながる学習として，「作業学習」に取り組んでいます。作業学習では，「委託作業班」「園芸・農作業班」「紙工・軽作業班」「工芸班」「ハーブ班」「縫製班」「窯業班」の７班に分かれ，毎時間，作業班ごとに特色ある製品作りや委託作業に取り組んでいます。作業学習を通して，生徒は，作業スキルを身に付けるとともに，自分から挨拶や報告，相談をする「コミュニケーション力」や１日中作業に取り組むことのできる「体力」や「集中力」を身に付けることができ，将来の職業生活や社会自立に必要なことについて，実践を通して総合的に学習しています。

高等部では，作業班で製作した製品等を，１月末に実施される「武養祭」にて販売しております。この「武養祭」に向けて，生徒たちは１年間，何度も失敗をしながらも，より良い製品を作ろうと一生懸命取り組んできました。また，委託作業班では，外部講師を招いて接客マナーについても学習に取り組んできています。

～　高等部　２年生の作業学習の様子　～

今年度の「武養祭」は，１月28日（木）10：00～11：15に開催予定です。新型コロナウイル感染拡大防止のため，高等部の保護者のみの入場となりますが，生徒たちが自分で作った製品を直接販売することのできる貴重な機会となります。多くの保護者の方にご参加いただきたいと思います。また，この経験を，今後の学校生活や社会生活につなげていきたいと思います。

（高等部第２学年主任　前田 小百合）